

循環器疾患【脳血管疾患、心疾患】

【現状と課題】

- 市の死亡死因別割合では、過去5年間において、心疾患は2位、脳血管疾患は3位、4位になっている。ともに40代から増加していく。
- 年齢調整死亡率については、脳血管疾患24年度男性が東京都の数値より高い。
- 標準化死亡比（東京都基準）は、平成24年度、心疾患の女性、脳血管疾患の男女が基準より高い。
- 標準化死亡比（国基準平成20～24年）では、心疾患の男性、脳血管疾患のうち、脳内出血が男女ともに高い。

【認知度】

- メタボリックシンドロームの認知度は74.3%で都と比較して低い。
- 特定保健指導の認知度は、47.5%が知っている。特定保健指導が始まる40歳以上から知っている割合が増えている。

【行動】

- 特定健康診査受診率は、平成25年度データは都より高い。
- 一般健康診査（後期高齢者医療制度）の受診率は年々増加傾向にある。
- 健診を受けていない人の理由は、「面倒だったから」「受ける必要がなかったから」が高い。特定健診対象者の40歳から74歳までは「面倒だったから」の割合が高い。
- かかりつけの医療機関やかかりつけの薬局がある人の割合は、75歳以上が高い。
- 体重を測る習慣は若年の男性が少ない。

【指標一覧】

	指標	現状値	国や都の数値	目標
	【現状】			
1	脳血管疾患年齢調整死亡率（直接法）	24年度 男性42.8% 女性15.7%	都 男性42.7% 女性22.3%	—
2	心疾患年齢調整死亡率（直接法）	24年度 男性65.0% 女性34.5%	都 男性68.7% 女性35.3%	—
3	標準化死亡比（24年度）	心疾患 男性94.0 女性104.2 脳血管疾患 男性105.1 女性111.6	都100	—
4	標準化死亡比（平成20～24年度）	心疾患 男性101.9 女性94.8 脳血管疾患 男性93.5 女性83.9 （脳内出血） 男性110.0 女性137.4	国100	—
	【認知度】			
5	メタボリックシンドロームが生活習慣病のリスクを高めることを知っている人の割合	74.3%	参考（都）※3 82.2%	80% （都数値と近似値）
6	特定保健指導という生活改善のプログラムがあることを知っている人の割合	47.5%	—	70% （詳しく知らない 22.4% 加えると 69.9%）

	【行動】			
7	一般健康診査（25～39歳） 平成26年度 受診者数	686人	—	ふやす (申し込み制度のため)
8	特定健康診査（平成25年度） 40歳～74歳	47.3% ※1	43.6% (都) 47.7% (市部)	60% 小平市第二次 特定健康診査 実施計画目標 (29年度)
9	特定保健指導実施率 (平成25年度)	18.4%	—	60% 小平市第二次 特定健康診査 実施計画目標 (29年度)
10	一般健康診査 (後期高齢者医療制度) (平成26年度)	50.2% ※2	—	57% (都) ※5
11	ご自身の体重を測る習慣がある人の割合	62.0%	—	ふやす
12	かかりつけの医療機関がある人の割合	69.8%	81.2% (都) ※4	ふやす
13	かかりつけの薬局がある人の割合	27.0%	—	ふやす

※1 比較のため、平成25年度時点で作成

※2 「小平市保険年金課後期高齢者医療担当資料より」

※3 「平成24年度健康に関する世論調査」

※4 「平成26年度東京都の福祉保健基礎調査」

※5 「第1期東京都後期高齢者医療広域連合保健事業実施計画（29年度目標値）」

【目標】脳血管疾患、心疾患の発症をへらす。

- 健康を管理するため健康診査の受診率向上に取り組む。
- 健診データを活用し、生活習慣の改善に取り組む。
- 危険因子を排除する生活習慣を普及する。

行政の取り組みについて方向性

- 健康を管理するため健康診査の受診率向上に取り組む。
- ◆ 各年代において健康診査を、受診できる体制づくり。
 - ◆ かかりつけ医療機関、かかりつけ薬局を普及する。

事業名	内容	主体
一般健康診査（若年）	25歳から39歳を対象として健康診査を実施している。検査項目は、問診、身体計測、血圧測定、理学的検査、検尿、生化学的検査、血液学的検査。	健康推進課
一般健康診査	生活保護受給者等を対象として健康診査を実施している。	健康推進課
特定健康診査	40～74歳で、4月1日から引き続き小平市国民健康保険に加入している方を対象に無料の健康診査を実施している。検査内容は一般検診と同じだが、特定健康診査の場合は、検査結果に基づき必要に応じて生活習慣病予防や改善のための保健指導を行っている。	保険年金課
一般健康診査（後期高齢者医療制度）	後期高齢者医療制度の加入者を対象に、健康保持・増進と生活習慣病の早期発見のため、年に一度無料の一般健康診査を実施している。	保険年金課
人間ドック利用費補助（国民健康保険）	30歳以上の小平市国民健康保険の加入者を対象に、生活習慣病などの予防・早期発見のため、人間ドック・脳ドックの受診料金の一部を補助している（1人10,000円）	保険年金課
人間ドック利用費補助（後期高齢者医療制度）	後期高齢者医療制度の加入者を対象に、健康保持・増進と生活習慣病の早期発見のため、人間ドック・脳ドックの受診料金の一部を補助している（1人10,000円）	保険年金課
後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知（国民健康保険）	医療費に係る経済的負担の軽減および医療費の適正化を目的として、現在処方されている医薬品をジェネリック医薬品に変えた場合に薬代がどのくらい軽減できるかを通知している。	保険年金課

かかりつけ薬局 普及啓発事業	医薬品等の正しい情報提供の場として、地域医療に貢献する「かかりつけ薬局」の普及・啓発を図るため、小平市薬剤師会に委託し、気軽に相談できる場所として「薬事相談会」を実施している。	健康推進課
-------------------	--	-------

◆ 健康管理の機会を提供する。

事業名	内容	主体
骨粗しょう症検診	骨量を計測することにより、生活習慣病を予防するため、40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳の女性を対象に集団検診を実施している。	健康推進課
計測相談会・いきいき測定会	血圧・骨量・体組成・血管年齢測定などを行い、その結果についての相談会。保健師・管理栄養士の個別相談、健康運動指導者の運動実技、歯科衛生士の集団歯科講話も行っている。	健康推進課

2．健診データを活用した生活習慣の改善に取り組む。

◆ 生活習慣の指導と医療機関への受診勧奨を促す。

事業名	内容	主体
健康づくり相談・医師による健康づくり相談	健康診断などの結果を基に、医師・管理栄養士・保健師の個別相談を行っている。	健康推進課
特定健診異常値放置者フォロー	特定健康診断の結果で、異常値放置者に対し、文書、電話にて受診勧奨を行っている。	健康推進課
特定保健指導（国民健康保険）	市の特定健康診査の結果、特定保健指導が必要と判定された方が対象。内臓脂肪を減らし、生活習慣を改善するための集団または個別のプログラム	保険年金課
糖尿病性腎症重症化予防（国民健康保険）	糖尿病性腎症の重症化によって腎不全への移行が危惧される方を対象に、予防指導を実施している。専門職による6 か月間の健康支援・予防指導（面接と電話）を行う。	保険年金課
健診異常値放置者受診勧奨事業（国民健康保険）	未受診の患者に医療機関受診を促し、健診異常値放置者数を減らすため、特定健康診査の受診結果に異常値があり、かつ、数か月経過しても生活習慣病投薬レセプトがない方を対象に、市より受診勧奨通知を送付している。	健康推進課
訪問健康相談事業（国民健康保険）	小平市国民健康保険加入者で、重複受診、頻回受診、重複服薬の者に、家庭でのより良い生活支援のため、健康づくり・療養のしかた・医療機関や福祉サービスの利用方法などについての相談や情報提供・アドバイスを無料で行っている。	保険年金課

3．危険因子（高血圧 脂質異常症 糖尿病 喫煙）を排除する生活習慣を普及する。

◆ たんぱく質の適量摂取をすすめる。

◆ 減塩の取り組みをすすめる。

◆ 適正体重の管理をすすめる。

◆ 運動不足を改善する。

◆ 糖尿病対策をすすめる。

◆ 喫煙習慣の改善をすすめる。

事業名	内容	主体
ヘルスアップ教室・ヘルスアップ教室 0B 会	・ヘルスアップ教室は 6 日間の教室で、各自の目標をもって仲間とともに生活習慣の改善と健康づくりの継続を目指すのと自主グループ化を図る	健康推進課
栄養・運動教室	テーマに合わせた栄養の講話・運動の実技を行う	健康推進課
糖尿病性腎症重症化予防（国民健康保険）	糖尿病性腎症の重症化によって腎不全への移行が危惧される方を対象に、予防指導を実施している。専門職による 6 か月間の健康支援・予防指導（面接と電話）を行う。	保険年金課